

平成25年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	ごみ減量化啓発事業						担当部	環境交通部							
	会計区分	一般会計			事業類型	一般		担当課	廃棄物対策課							
	事業期間	平成15年度			～	平成30年度以降		担当係	ごみ減量推進係							
	総合計画 分野別計画	主目的	2 環境交通		6 ごみ対策		1 3Rを推進する									
		副目的	6-2													
	予算区分	款	4		項	2		目	2		大	5		中	1	
	根拠法令・個別計画	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、小牧市廃棄物の減量化及び適正処理に関する条例、小牧市ごみ処理基本計画、小牧市分別収集計画														
	目的 (対象をどの様な状態にするのか)	市民や事業者に対して、パンフレット等によりごみ減量化についての啓発を行い、さらなるごみ減量化の推進を図る。														
	内容 (手段)	<p>■平成24年度実施内容(直接経費(1,105,905円)の内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ごみ減量化に関するパンフレット、チラシを作成し、市民や事業者へ配布 <ul style="list-style-type: none"> <li>○雑がみ啓発チラシ(20,000部)128,600円</li> <li>○ポイ捨て禁止チラシ(10,000部)55,000円</li> <li>○「事業者のみなさまへ」を作成、配布(7,000部)298,305円</li> <li>○「私たちのくらしとごみ」(小学校4年生の副教材)を作成、配布(2,000部)451,500円</li> </ul> </li> <li>●環境フェア等のイベントの機会を利用して、ごみ減量化についての啓発</li> <li>●「エコリン」の着ぐるみを活用し、ごみ減量の啓発 <ul style="list-style-type: none"> <li>エコリン着ぐるみクリーニング 52,500円</li> </ul> </li> <li>●ごみ減量等活動団体への感謝状及び記念品の贈呈 100,000円 (資源回収13団体、7区)</li> <li>●3R促進ポスターコンクールの実施(表彰20人) 審査員謝礼金 20,000円</li> </ul> <p>■平成25年度実施内容(直接経費2,547千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ごみ減量化に関するパンフレット、チラシを作成し、市民や事業者へ配布 1,386千円</li> <li>●環境フェア等のイベントの機会を利用して、ごみ減量化についての啓発</li> <li>●「エコリン」の着ぐるみを活用し、ごみ減量の啓発 84千円</li> <li>●ごみ減量等活動団体への感謝状及び記念品の贈呈 100千円</li> <li>●3R促進ポスターコンクールの実施 20千円</li> <li>●全事業者に対して啓発パンフレットを配布し、事業系ごみの適正排出について啓発を行う。あわせてアンケートを実施し、今後の事業系ごみの適正排出の推進のための基礎資料とする。 957千円</li> </ul>														
	受益者負担	無														

		単位	H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	1,724	2,594	1,105	2,547	
		正職員	従事者数	人	0.25	0.25	0.25	0.25
			人件費	千円	1,332	1,332	1,332	1,332
		その他職員	従事者数	人	0.20	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	298	0	0	0
		費用合計	千円	3,354	3,926	2,437	3,879	
	対前年比	%		117.0	62.0	159.1		
財源	一般財源	千円	3,354	3,926	2,437	3,879		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業	活動指標名	単位		H22	H23	H24	H25
	績	資源・ごみ分別早見表	部	目標	—	—	—
実績				20,000	20,000	70,000	
事業者向けごみ減量啓発用パンフレットの作成		部	目標	—	—	—	—
			実績	1,000	5,000	7,000	
小学校での環境教育用副教材の作成		部	目標	—	—	—	—
			実績	2,000	2,000	2,000	
成果指標名	単位		H22	H23	H24	H25	
家庭系ごみの一人1日あたりの排出量(資源を除く)	g	目標	460	457	453	449	
		実績	450	453	454		
		目標					
		実績					

事業の自己評価	平成24年度の実施結果	<p>事業の達成状況</p> <p>雑がみの排出方法のチラシを作成し、資源回収団体などに配布した。また、「資源・ごみの分け方と出し方・分別早見表」の保存版を作成し、全戸配布した。 資源を除く家庭系ごみ一人1日あたりの排出量について、H24目標値453gに対し、実績454gと1g上回ったものの概ね目標を達成した。</p> <p>事業実施における課題</p> <p>基本的に広報での啓発活動を行うため、区に未加入の市民に対して啓発するのが困難である。 また、ごみ減量意識が低い単身者や市内転入者に対して、さらに啓発していく必要がある。</p> <p>事業を縮小・廃止したときの影響</p> <p>市民、事業者一人ひとりのごみ減量意識の向上には、地道にわかりやすく啓発を行う必要があり、事業を廃止・縮小すれば意識の低下につながる事が予想される。</p>
	平成25年度の改善内容	<p>25年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)</p> <p>「共同住宅におけるごみの排出指導要綱」を定め、共同(集合)住宅の入居者、管理会社、所有者に対する啓発・指導を強化する(H25.4.1施行)。また、全事業者に対して啓発パンフレットを配布し、事業系ごみの適正排出について啓発を行う。 事業所に対しアンケート調査を実施し、事業系ごみの排出状況を調査し、事業系ごみの排出指導のための基礎資料とする。 効果の低いごみ減量アイデアコンテストを廃止する。 平成25年度より「ごみ排出指導事業」「ごみ排出抑制事業」と統合する。</p>
	平成26年度の事業の方向性	<p>方向性の判定</p> <p>維持</p> <p>事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)</p> <p>判定理由</p> <p>市民、事業者一人ひとりのごみ減量意識の向上のためには、今後もパンフレット等の個別配布やイベント時の啓発活動が有効であり、引き続き実施する必要があるため。</p> <p>26年度以降の改善案</p> <p>共同(集合)住宅の入居者や外国人入居者に対しては、管理会社を通じてパンフレットの配布をしたり、必要に応じて個別指導を行ったりしているが、より一層の啓発強化をするため、宅地建物取引業協会を通じて、管理会社、ひいては入居者への啓発、指導を強化する。</p>

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。外部評価を受けた改善が進められており維持とする。